

寺報 善 巧

発行
〒 938-0862 富 山 県
下新川郡宇奈月町浦山497
白 雪 山 善 巧 寺
T E L (0765) 65-0055
F A X (0765) 65-0975
メー ル zengyou @ box.email.ne.jp

寺
ごよみ

四 月

- 一 日 下村お講
- 一 三 日 清掃奉仕
- 一 六 日 栗虫お講
- 一 七 日 聞法会
- 一 九 日 花つみ
- 二〇日 花の誕生会

花の誕生会

二〇日九時 お寺の学校
十時 初参式
おつとめ
記念珠贈呈
おはなし
縁日

冥加金 三千元
お申し込みは一六日まで
地区総代さん又はお寺ま
でご連絡ください



17年前の誕生会

四月二十日十時 花の誕生会

みんなのいのちありがとう

いろもなし かたちもま
しまさず しかればこころ
もおよばず ことばもたえ
たり

唯信鈔文意を講義された
山本仏骨和上が次のように
おっしゃいました。

「いろもなし、かたちも
ましまさず」とは、どのよ
うないろにも、どのような
かたちになってもなつて、私の
思議をこえて働いてくだ
さるというお言葉です。

ありがたいお言葉であ
ると味わうことです。仏
法を聴聞することが、改
まってしまうことなく、
私の上にはたらいでくだ
さっている如来様に遇うこ
とだと味わうからです。如
来様のはたらきに遇うこと
は、お育てにあずかってい
る私に気付かせていただく
ということ。今、如来
様のお育ての中で正しく生
かされている、如来様に育
てられている「育ち盛り」
の私なのです。如来様と私
の関係を、機法一体と言わ
れます。機は法によって育

育ちざかり

てられるチャンス（絶好の
機会）で、法によって育て
られるしくみであるといわ
れました。如来様に育てて
くださいと願うのではなく、
すでに如来様のお育てにあ
ずかっているのです。私の
方から知ることなく、い
つのまにか（十劫の昔から）
不思議のうちに育ててい
ただいています。あり難い
ことに私達は、春夏秋冬
冬、味の濃淡、風呂の
湯加減など身の全体が、
「聞く」機能を持っ
ています。この機能が、
如来様のお育てを深く
味わわせていただくの
です。

私は、年をとること、病
気になること、いのち終わ
ることをつまらなく思いま
すが、念仏の衆生とお育て
いただいている中に仕組ま
れて、生かされていること
を、聞いて味わうことので
きる今こそチャンスである
と思うのです。

滋賀弘誓寺

那須野 浄英師

空華

花

空華忌講話

①

行信教学校長 利井明弘師



てきます。十二光讃ですね。
正信偈で言うところ、

普放無量無辺光
無礙無対光炎王
清浄歓喜智慧光
不断難思無称光
超日月光照塵刹

智慧の光明はかりなし
有量の諸相ことごとく
光暎かぶらぬものはなし
真実明に帰命せよ

聞きましたら本年は僧鎔
師の二百二十回忌にあたる
そうです。

その空華の僧鎔和上の書
かれたものに和讃方軌とい
う本があるんですが、そこ
に五双十義というものが出

その十二光を五双十義で
解釈されておるのが僧鎔和
上です。五双というのが、
まあね、僧鎔和上というの
は頭のいいお方やったんや
ね。ぼくらは五つある中の
一つか二つ味わる程度です
けども、十二の光を縦・横・
斜めで、まだ三義でしょ。
ところが五つ見ておられる
んです。ちよつとここへ書

いて見ます。「黑板」「体・
用 横・縦 自・他 悲・
智 当相・寄対」この五つ、
これ全部相対してあるんで
す。体というのはそのもの
自体のお徳ですね。用とい
うのはたらきです。これ
が一つですね。それから横・
縦というのは、横はよこ、
空間的なひろがり。縦はた
て。百二十年続いたとか、
二百年続いたとか、時間的
なもの。空間と時間ですね。
三つ目は自徳か化他か。自
分が学んで自分の徳として
積むということと、相手に
それを与えるということ。
これで自・他ですね。それ
から四つ目がお慈悲と智慧。
五つ目は当相と寄対。当相
はそのままとすること。寄
対というのは、これは一つ
しかないから言いますと、
「超日月光」と日月に喩え
てありますね。私達が知っ
ておる、お日さまやお月様
の光よりも阿弥陀さまの十
二の光のはたらきが超えて
おるということを、お日さ
まや、お月さんに寄せて解

釈してある。それが超日月
光です。日月に超えた光。
そこで体・用から全部話
しできないと思うけど、少
しずつ話します。十二光に
ついてはいろいろな和上が、
いろいろな分け方をしてお
られるんです。鮮妙も僧鎔
和上がこうおっしゃってる
と、まず書いて、それから
私はこう味わうといって科
段を造っておられるんです。
しかし僕はね、僧鎔和上
の体・用というのが非常に
有り難く思えるんです。そ
れはどういうことかと言
いますとね、十二光の中心は
やつぱり六光なんですよ。
六つの光なんです。「無量・
無辺・清浄・歓喜・智慧・
無碍」です。
無量・無辺というのが阿
弥陀さま自体のお徳。それ
が今一番最初に読みました、
「智慧の光明はかりなし」
とあるでしょ。あの「はか
りなし」というところで無
量光なんです。分かります
ね。「智慧の光明」という
から智慧光やと思うでしょ。

だけど「智慧の光明はかり
なし」というところで「無
量光」をまず和讃されてお
るんです。これがいま言
いました、仏さま自体のお徳
なんです。
これはどこでも何べん
もしやべつて話ですけど、
一つしますと、僕、学生
の頃九十キロありまして。
その頃京都駅は階段ばっか
りだったんですわ。御本山
にお手伝いに行つてね、仕
事終わってから仲間一杯
飲みに行きましてなあ。酒
に酔っ払うて、九十キロで、
京都駅へ帰ろう思うたらね、
階段だけでうんざりするん
です。だからどうしても電
車は座って帰りたいかった。
でも快速電車は人が多くて
座れないんです。だからい
つでも各駅停車に乗って帰
るんです。ところがね、そ
れでも座れないことがある
んです。各駅停車は京都駅
でずーっと待つとるんです
わ。その間にみんな乗るか
ら、立ってる時があるんで
す。この時はどうするかと

いうとね、次降りる人探すんや。これすぐ分かるのよ。荷物まとめたり、切符探したりしてる人は次降りるんよ。そうするとその人の前に立つんやね。そうしたら僕の思うてるとおりその人が次の駅で降りる、僕がそこへ座ると。これが僕の奥の手やった。(笑) ところがある時こんなことがあったんですよ。京都駅で乗ったときに何人か立つとつたんです。それでいつものように、次で降りる人探さんなどと思つてた。ところが次に降りる人探さなくても、うまいこといったら座れる席が一つあったんです。一番端っこで子供を膝の上に乗せた若い奥さんが小さくなつて座つておるんですわ。その横にその子供と僕とやつたら座れるぐらいの荷物が置いてある。それに手にかけて若い男が二人座つておるんです。あの荷物降ろしてくれたら座れるのになあ、と思つてジーッと見とつたんです。あれ人の視線で感

じるでしょ。向こうもこっち向いたんや。「僕は降ろしてくれへんか？」つていう顔したんですよ。そしたらちゃんと通じたんよ。そしたら「あかん。」つて向こうは言つたんよ。(笑) もうしようがないからね、次降りる人また探しておつた。西大路駅で降りる人がいたから私は座れた。ところが後から乗つてきた人は何人か立たないかんかった。

いのちおわつて滅びるときは何処へいきますか？

そしたら乗つてきた人の中の爺さんが一人ね、私の前に立つてね。「あの隅っこの女の人の見てみ、小さく小さくなつて座つておんのに、あの荷物降ろしたら、ゆつたり座れてええのに、あの若い奴は」つて若い二人のことを言つてるんです。ぼくのことじゃなくて良かったんですけど。ところがです。乗ってくる人、乗ってくる人みんな若い男を睨

むんや。そうしたらもう気付いているはずなのに、ぜんぜんみんなのところ見ずに熱心に話し合つてるような顔をしとつた。そしたら爺さん次の駅で降りたんですが、その時わざわざ若い男に近いドアから降りて、降り際何か「わつ」と怒鳴つて降りてつた。ところが若い男は知らんふりですわ。で、あいつら高槻まで行くんかな、と思つて見てた

電車がガッタンと止まつたら、一番隅っこの女の人の膝から子供降ろして、それでその荷物を持つたんです。若い男の荷物じゃなかったんです。それやつたら肘つくなつて思う。そう思うでしょ。それでドアが開いたら、若い男が「どや分かつたか」つて顔して降りてつた。その後から女の人が恥ずかしそうな顔して降りてつた。「完全に逆さまやつた

です。そしたらね、高槻の一つ手前の山崎という駅で電車が止まりかけた。そうするとおれもぞと、その席が動き出した。「山崎で降りるんやな」と思つておつたんです。そしたらおかしな事が起きたんですわ。若い男が荷物を持たないで、電車の扉に背中をついて、さつき睨んだ奴をずーっと睨み返すんです。何やろなと思つて見てた。そしたら

な。」と思つた時にえらいことに気が付いたんです。途中で怒つて降りていった爺さん、きつと家で言うてると思うんです。「近頃の若い奴はしゃあない。」つて。「お爺さんあれ違つたんです。あれ女の人の荷物でした」つてもう言えないね。

てるんです。けど時間が経つたらころつと変わつてしまふ。それがね、「有量の諸相ことごとく」と。我々には有量なんです。限りがあるんです。途中下車してどこに乗るんですか？また乗つたつて環状線ですよ。また迷いの六道いくんです。その因縁を断ち切らないといけない。阿弥陀さまはね、「智慧の光明はかりなし」永遠に変わることはない真実、おじいちゃん、おばあちゃん、曾じいさん、曾ばあさん、ずーつと聞いてきた、いや、二千数百年前から聞いてきた一字も変わつてないお経を読んでいるんですよ。分かりますな。娑婆で間違いのないものはころころと変わつていくし、私達は全部途中下車です。いのちおわつて滅びるときは何処へいきますか？それを味わわせてもらわなければいけませんな。



成人式 おめでとー 一月十二日

日校生OBが仏さまの前
で成人を迎えさせていた
いたことを報告お礼しまし
た。 参加者 山内香織・

松木理恵・福田真紀子・佐々
木隆亮・市川恵・福沢電十・
森田泉・中めぐみ・新保陽
子・川上つかさ(敬称略)



もちつき大会



新年かるた大会



除夜の鐘

御正忌報恩講

一月十三〜十六日



浄土真宗で最も大切なご法要、宗祖親鸞聖人の御正忌が例年どおり四

日間にわたってお勤まりになりました。今年はお越しいただいた大阪の中西昌弘先生が、二河白道のお話をはじめ、分かりやすく丁寧にお取次ぎくださいました。

また今年始めて年の始めにふさわしく福引が行われ、手提げ袋やお猪口、『歎異抄』などがプレゼントされました。



夜の法座



串盛も手慣れたもの



おけそくつくり

福井千福寺へお参り 二月四日

昨年もお参りした福井千福寺の「おそばとお説教の会」へ行ってきました。ご

す。帰りは金沢に途中下車して、銭屋五平衛資料館に立ち寄りしました。

住職のご法話を聞いた後、地元のボランティアによるマジックを楽しみながら越前そばをいただきました。昨年は陶器の平皿でしたが、今年は朱塗りの漆器に揃えられて、一味アップしていました。善巧寺一行の中では七杯が最高だったようです。



：教化部コーナー： ちぎり絵展

四月二十日～五月六日



第十七回コンクールでは課題の教材二十号を見事に完成し、その卓越した技量が他の模範として賞讃に値すると表彰された。

日本の伝統文化の継承ここにあり、と思わず感嘆。編集子、古希をこえて今日もまた学ばせてもらった。

彼岸の声を聞くある日の宵の口、案内された茶室の炉にかけた釜からしゅんしゅんという不思議な音色が耳に響く。

和紙ちぎり絵を始めて十数年という、浦山の橘照子さんをお訪ねした。

橘さんを講師とするしゅんちぎり絵橘照子教室は、現在二十名の皆さんで活発に活動されている。こうした教室は全国で千五百を超えるそうで、毎年全国コンクールが開かれ、橘さんは入賞の常連だとか。昨年の



のお役目である。

このちぎり絵サークルの展示会が、四月の『花の誕生会』に合わせて、善巧寺門徒会館で催される。一見の価値あり、ぜひともご鑑賞をおすすめする。(K)

黒西組仏教婦人会連盟総会

三月八日

黒西組仏教婦人会連盟（魚津、黒部、宇奈月にある六つのお寺で構成されている）の総会が魚津の照願寺で開催されました。

お勤めのあと菅田紹隆先生のご法話、その後の総会では十四年度の事業報告、会計報告がありおよそ八十人余の会員が承認しました。

善巧寺仏婦は、下立、浦山、枋屋、愛本新、枋沢等から十一人が出席しました。



◇宇奈月

父母らに披露した。

◇卒業公演で恒例

となった「こども落語」では、六年生の卒業生三人が「囲いに囲まれたねへい（塀）」

演「写真」は

など小話を面白くおかしく語り、喝さいを受けた。

町浦山の雪ん子劇団卒業公演「写真」は二十三日夕、同所の善巧寺本堂特設舞台で行われ、メンバーが演劇を通して成長した姿を披露した。



◇劇団主宰

の雪山玲子さんは「親が一生懸命で、練習に子を送り迎えるほど」と振り返り、精神的にも大きくなった子どもたちの熱演に目を細めていた。

▲ 3 月 4 日 富山新聞

第一回営繕部会

三月九日

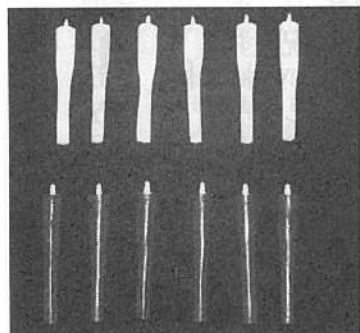


岡田営繕部長の呼びかけで、第一回営繕部会が開かれました。お寺のハード面

ご法事用ろうそく

お寺でどうぞ

お寺参りのろうそくがお寺でお求めいただけます。浦山の桑山商店が店じまいされてお困りの方が多いので、お寺でお求めいただけますようにしました。ろうそく屋さんの定価でお売りします。ご利用ください。



白色二十号六本一組 一七六〇円
赤色二十号六本一組 二一四〇円

を維持していくために、今年は何をすべきか、今後何を手がけていくかが熱心に話し合われました。

また、三月初旬本堂東余間の雨漏りが発見されましたが、迅速第一と、即刻営繕部が動いて的確な処置がとられたことが報告されました。集会所の縁の下への補強、集会所屋根の雨漏りの修繕は早急に処置することになりました。その他、長期計画で修繕しなければならぬ事項などについて遅くまで話し合いが続きまし

ご存知ですかお寺のホームページ

善巧寺のホームページを昨年の六月から開設しています。内容は、寺報、寺の活動内容、法話、行事写真など盛りだくさん。

お寺はあくまで直接人と人が逢うことを大切にしています。しかし、時代の流れの中で、活用出来るものは有効に活用していくべき

でしょう。

あなたのお寺から発信するものを離れた子や孫に見せることが出来るのです。たとえそれが機械をとおしたものであってもありがたいことじゃありませんか。どうぞ、若い方たちにも教えてあげてください。

寺
ごよみ

五月

一日 音沢お講①

一〇日 仏教教区総会

一日 聞法会

一六日 音沢お講②

二二日 専精舎・本山参拝
二四日

寺
ごよみ

六月

一日 東狐・上野お講

七日 総代会 仏舎利塔法要

一六日 音沢お講③ 教化推進協議会

一七日 聞法会

七月五日

仏婦研修会

講師：那須野浄英師

うぐいすの

いまだ幼き

初音かな

喜子

白雪山善巧寺 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り 履歴 メール 印刷

アドレス(A) http://www.ne.jp/asahi/zengyou/hp/

寺 白雪山善巧寺 〒538-0862 富山県下新川郡平泉町浦山497(地図) 最終更新日: 2003.3.4

- TOP
- 善巧寺
- 近況報告
- カード
- 法話集
- 寺報
- 年間行事
- 常設行事
- 善人子弟会
- カレンダー
- アクセス
- LINK

http://www.ne.jp/asahi/zengyou/hp/

第二十七回

花の中の誕生会

四月二十日 十時

赤ちゃんが生まれたらまずお寺で初参り。
新しいいのちをみんなで祝いましょう。

受付 九時半

冥加金 三千元

申込み 十六日まで

地区総代さんか

お寺までご連絡を

六五〇〇五五



専精舎と本山参拝

五月二十二日～二十四日

前住職隆弘の里、大阪常見
寺で行われる最大の法要「専
精舎夏講」参拝。ふつうの観
光とは一味違った旅行です。
納骨、おかみそりご希望の方
も是非ご一緒にどうぞ。

専精舎参拝

本山参拝、京都観光

会費三万円ほど



ちぎり絵展

期間：四月二十日～五月六日 午前十時～午後四時
場所：善巧寺門徒会館1F

仏婦研修会

七月五日 午前九時半 研修会（善巧寺本堂）

正午 懇親会（グリーン喜泉）

講師 滋賀弘誓寺 那須野浄英師

聞法会 あなたも受講してみませんか？

時間：午後七時半～（九時終了）

場所：門徒会館2F 会費：千円

講師：高務哲量師 講題：高僧和讃

途中参加、初めての方歓迎です。今後の受講日は、四月
十七日、五月十一日、六月十七日、九月十七日、十月十一
日、十二月十七日です。

落語会中止のお知らせ

「出演者の健康を考え今回の落語会は中止いたします。」

東京クリエイティブプロモーション

二十五年もの間お越しいただいた出演者の皆さま、ごひ
いきいただいたお客さま方、心より御礼申し上げます。本
当にありがとうございます。またいつか『お寺座』公演
の際にはご案内申し上げます。」

『お寺座』おかみ
夢を語る会一同

合 掌

昨年十月からはじまった
「ほんこさま」が三月十二
日をもって無事終わりました。
今回から若手トリオに
なりましたが、今後ともど
うぞよろしく。

* * *

ある教養講座で路のとう
の話をしておりましたらそ
の日のうちに玄関先に落の
とうがおいてありました。
どなたかは分かりませんが、
早速春の香りをいただきました。
ありがとうございます。

* * *

総代会も、教化部、営繕
部が動きはじめています。
寺内門徒が一丸となって、
浄土真宗の道場を守らせて
いただくことは真にありが
たく大切なことです。あな
たもそのお一人です。

